

- 日 時:令和4年5月25日(水)10:00~11:10
- 場 所:潮来市役所3階 第一会議室
- 教 育 長:横田直樹
- 出席委員:小松崎修平、塚本健二郎、飯田三矢子、茂木悦男
- 事務局:埴教育部長、村田学校教育課長、吉川生涯学習課長、大塚給食センター長
大川学校教育課長補佐、泉学校教育課係長、森内学校教育課係長、土子学校教育課主事補

○ 傍聴者:なし

1 開 会

2 あいさつ

- ・横田教育長から開会挨拶
- ・会議録署名人として塚本委員が指名された。

3 案 件

- 日程第1 報告第8号 学校医の変更等に対する同意の専決について
 - ・村田学校教育課長から説明する。
 - 全員異議なく、原案のとおり承認した。
- 日程第14 議案第26号 令和4年度潮来市立小・中学校要保護児童生徒の認定取消しについて
 - ・村田学校教育課長及び土子学校教育主事補から説明する。
 - 全員異議なく、原案のとおり可決した。

4 教育長報告

- ・横田教育長から4月25日から5月25日までの諸行事報告が行われた。

5 業務事務日程について

- ・各課長から5月25日から7月31日までの行事予定について説明

6 教育委員会所管事項に関する質疑

7 その他

(1) 潮来市学校適正化計画等について

- ・埴教育部長、大川学校教育課長補佐から現在までの本市学校適正化実施計画等に基づく、進捗状況や出生数のデータ、今後の進め方等について説明を行う。

茂木委員:学校への地域の思いは強いと思うので、十分に説明等をしてほしい。お互いが「統合して良かった」と言えるような方向を目指していただきたい。保護者や地域の思いもあるが、子どもにとって一番よい学校環境づくりを考えていってほしい。

小松崎委員:私の地域でも小学校や中学校の児童生徒が減っている状況である。現在、グローバル化により、いろいろな情報等を入手することが可能であり、その中で潮来市では子どもたちのために、こういうふうやっていくという方向性や将来像を示していくことが重要ではないかと考える。

茂木委員:学校適正化計画に基づき、適正規模や適正配置については、進めていくことが必要であると思う。将来を担う子どもたちが、そこに住み、子どもを産み育てることや地域に活力を創出するような計画等についても重要であると思う。

埴部長:人口減少や少子化に対応するため、地方創生に関する計画を策定している。

(地方創生等に関する各施策を含め、子育て支援施策や移住定住施策等について説明する。)

小松崎委員:ある認定こども園を訪問した際に、従事している職員との会話の中で、親の仕事等の状況もあるが園が可能であれば、延長料金を払ってでも子どもを預かってほしいとの意見等もあるとのことであった。子どもと親との関係性についても変化が伺われる。その中で、本市の子育て支援など教育環境等を含め、進めていくことは大変なことであると考え。諸外国では人口増に向けいろいろな施策を実施している。潮来市でも人口増や少子化対策に向けた施策等を実施していってほしい。

飯田委員:中学生になると学校の環境等が変わり、いろいろな要因もあると思うが、中には学校生活等についていけない生徒もいる。少人数の学校の良いところもあると思うが、ある程度児童数がある学校の方が子どもたちの今後にとって、良いのではないかと考える。

教育長:児童生徒における不登校等の問題については、いろいろな要因が伺われる。統合等についても、丁寧に説明を行いながら、本市の状況等に応じ、細かなところに向け本市の学校適正化を目指していきたい。

塚本委員：潮来市の人口減少や少子化について、先進地の良いところを参考にし、その手法等を取り入れてみてはどうか。
地域の状況等も違うので、同じようなところと比較しながら検討してはどうか。また、多くの人と話し合い知恵を出し合った方がよい。

(2) 第44回水郷潮来シティレガッタ大会について

・生涯学習課吉川課長から説明を行う。

日程：令和4年6月26日(日) 場所：潮来ボートコース、潮来ボートセンター

(3) 次回の定例会の開催日程について

・令和4年第6回教育委員会定例会については、6月24日(金)に開催することを確認する。

(4) その他

・小松崎委員から市内各小中学校のホームページの更新や教職員の働き方改革について意見等があった。

・教育長から教職員の働き方改革等について説明する。

・塚本委員：本市の部活動についての外部指導等に関する状況確認があった。

・埴部長から文部科学省の指針や先進事例、人材確保の課題等を説明する。

8

・横田教育長により閉会した。